



どうする



防災

2025 年 1 月号
和合町自主防災隊

高齢者の防災について

昨年の防災訓練反省会で話題になった課題の一つが、高齢者の避難、支援をどう行うか、という事でした。

- ① 現実問題として、避難所である泉小学校に、避難できるか？という問題
- ② 昼間、若い人たちが自宅にいない時間帯に災害が起こった時、高齢者だけで避難ができるのか？という問題
- ③ 災害時要支援者名簿に登録をされ、地域の自治会や、民生委員が把握しているのはほんの一握りの人のみ。登録をしていない人の中にも、支援が必要な人はたくさんいる。この人たちを、どう支援するのか？という問題。

※要支援者の登録は、ご自分で市役所に申請書を出す必要があります。

対策としてやっておくべきこと

- ☐ 在宅避難ができるように、自宅を安全にしておきましょう
 - 家具の転倒防止
 - 自宅の耐震化
- ☐ ご近所さん同士で、普段から、顔が見える関係づくりをしておきましょう
- ☐ 災害時に自らや家族だけで避難できず、地域支援者の支援が無くては自宅からの避難が困難な方は「災害時要支援者名簿」の登録をしておきましょう
お問い合わせは 市役所危機管理課 457-2537
- ☐ 普段から、自治会等の地域活動（防災、イベント、様々な活動）に参加しましょう
- ☐ 同居家族がいる高齢者はその家族と、独居の高齢者の方は、担当の民生委員やケアマネージャーさん（介護保険を利用している方）、ご家族等と、避難等についての話し合いをしておきましょう
- ☐ 黄色いタオルは、いつでも出せるようにしておきましょう（安全な時に出す）



高齢者であっても、子どもであっても、障がいがあっても、すべての人が災害に備え、日頃から準備をし、「自助」を考えておく必要があります。

いざという時に、自分が助かるように、自分を助けられるようにしておきましょう。